

Rising Moon



令和8年(2026年) 6月19日

雨降れば あじさい 開花の 音がする

作 岐阜県の中学生



梅雨入りはしたものの、比較的雨が少なく、暑さもあまり感じられない今日この頃、保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。最近、朝と昼の寒暖差があり、咽頭痛など風邪の症状を訴える生徒が多いようです。お互いに気をつけましょう。

さて、生徒たちは、いよいよ来週からⅠ学期期末テストに臨みます。この土日は終日、テスト勉強に励んでくれることでしょう。Ⅰ学期の成績(通知表)に大きく影響するだけに、日頃のようにスマホやゲームに時間を費やすことはできません。保護者の皆様におかれましては、お子様のSNSの適切な利用の働きかけと、学習に対する励ましのお言葉をよろしくお願いいたします。

今年も来ました。お父さん、出番ですよ～！



今年もこの時期に、父の日がやってきます。まずは、その由来から。

父の日は、母の日と同じくアメリカ発祥の祝日です。誕生したきっかけは、ソノラ・スマート・ドットという女性の嘆願によるものです。ソノラの父親は軍人で、南北戦争から復員した後に男手ひとつで6人の子どもたちを育て上げたのだそうです。6人兄弟の末っ子だったソノラは、ある日教会で行われていた説教を聴き、母の日があることを知りました。

そこで、「母をたたえる日があるならば、父をたたえる日があるべきだ」と思い、父の偉業を称えようと、1909年に牧師協会へ「父親へ感謝する日も作ってほしい」と嘆願しました。そして、その思いによって1910年6月19日に、初めて父の日の式典が開催されたのだそうです。

ちなみに、なぜ式典が開催されたのが6月だったのかというと、ソノラの父の誕生月だったから、といわれています。父の日の由来は育ててくれた自分の父親に対して、「感謝を伝えたい」という気持ちからだったのですね。【花キューピット から】

では、次に、お父さんへのメッセージです。

子どもが大人と決定的に違う点は、次の2つです。

① 未来の可能性を豊かにもっていること

② 選択できる人生の幅が広いこと

夢は容易に実現するものではありません。だからといって、将来を夢見るということは無意味だということにはならないのです。「夢を見、立志の精神を持つ」こと自体が子どもにとって大切なのです。

キャリア教育の重要性が叫ばれている今だからこそ、目先のことにこだわらず、大きく未来を見据えるような会話が必要だと思います。社会の第一線に立っているお父さん、ぜひ、仕事について・未来について・生き方についてお子様に話してあげてください。

「父の日 6/21(日)」も近いことですし、お父さん、今年も出番ですよ～！



- ☆ 仕事がどんなに大変か。また、仕事の中にどんな楽しさや喜びを感じているか。
- ☆ 10年後の日本はどんな姿になっていそうか。どんな生活が実現しそうか。
- ☆ 家族とは、家族へのメッセージ、子どもに対する願い。 等々



Ⅰ学期残り少ないスクールカウンセラー来校日



6月26日(金) 終日 ・ 7月3日(金) 終日 ・ 7月9日(木) PM

子どもの暴言に対する対応 その2 (NG対応・OK対応)

暴言を言うと、子どもにどんな変化が起こるのでしょうか？

お手伝いをした子どもを褒めるとどんどんお手伝いをしてくれるように、子どもは日々の生活の中で経験(「お手伝いをしたら褒められた」と)と学習(「お手伝いをすると褒めてもらえるから、もっとたくさんお手伝いしよう」)を繰り返しています。

この心の動きは暴言にも当てはまります。

例えば「『うるせー!!』と大きな声で叫んだら、周りが静かになり自分の思い通りになった」「『どけ!』と怒鳴ったら、人がいなくなっておもちゃを独り占めできた」というように、暴言を言うことで自分にとって都合のいいことが生じると、子どもはますます暴言を言うようになります。

それでは、これをふまえて、子どもの暴言に対する対応(NG対応・OK対応)について紹介します。

● NG 対応 ●

- (1) 「すべての暴言に反応する」
- (2) 「怒りに任せて怒鳴る」

◎ OK 対応 ◎

- (1) 「言われた側の気持ち」を伝える
- (2) 暴言を言わない場面を褒める

暴言とは、他人を傷つけるような言葉や乱暴な言葉を指します。

私たち大人でもイライラしていたり、興奮している時について暴言を使ってしまふことがありますよね。ですから、子どもに暴言をまったく使わせないというのは難しいでしょう。

大人と違って子どもは状況を読み取る力や、相手の立場になる想像力が未熟です。そのため、善悪の判断がつかず、言葉の意味や相手の気持ちを理解しないまま暴言を使ってしまいます。

そのまま放置していると暴言に対して間違った学習がされ、幼稚園や保育園、小学校などで適切な関係性が築けない場合もあります。

そうならないために、「どうしてこの子は暴言を言うてしまうのだろう」とその背景を考え、適切な対応を繰り返して行なっていきましょう。

子どもを伸ばす幼児教育情報サイト(CONOBAS)より

【ここに響く言葉 Vol.8】

一生覚えておきたい 「吉田松陰」の教え

- 一 「努力して後悔」した人は、過去に一度も見たことがない
- 二 「努力しないで後悔」した人は、世の中に腐るほどいる
- 三 練習して下手になる人も、勉強して馬鹿になる人もいない
- 四 行動して変わる人はいても、何もしないで変わる人は絶対にいない
- 五 夢なき者に理想なし、計画なし、実行なし。ゆえに成功なし。

結果を恐れずに行動しましょう。
本当の失敗は、何もしないことです。



【ここに響く言葉 Vol.9】

子どもに言ってはいけない言葉

- 1 どうせできないよ
- 2 あ〜、疲れた (仕事終わり)
- 3 なんで分らないの
- 4 あなたのために思って
- 5 また今度ね
- 6 勉強しなさい
- 7 早くしなさい

これらは、子どもの可能性を潰す、と言われています。

【ここに響く言葉 Vol.10】 もうすぐ父の日 娘と父親の関係性

- 1 お父さんは、娘のことが大好きだ
- 2 お父さんは、娘から嫌われたくない と思っている
- 3 お父さんは、お母さんから娘に甘い と怒られる
- 4 娘は、母とうまく行かないとき、父に助けを求める
- 5 娘は、たまにお母さんから嫉妬(しつ)される
- 6 娘は、思春期にお父さんを嫌ってしまうが、表だけ
- 7 娘は、お父さんが優しいと、救われるときがある
- 8 お父さんがいるだけで安心、と思っている
- 9 お父さんが働いてくれて感謝、と思っている
- 10 お父さんは、なんだかかんだとヒーローだ
- 11 お父さんに言っちゃいけない言葉 … 「嫌い」
- 12 お父さんに似てるところもあり、あなたの娘でした



生徒のみなさん、21日の日曜日はお父さんに感謝の気持ちを伝える日ですよ!

